

1 問2の問題の答えは実は全て間違っています。  
皆さんは先生になったつもりで、どこが間違えてるか指摘してください。

2 次の  $\square$  に入る値を求めなさい。

(1)  $16 \times 58 + 79 \times 16 - 14 \times 100 + 19 \times 37 - 37 \times 5 = \square$  274

$$\begin{aligned} & 16 \times (58 + 79) - 14 \times 100 + 37 \times (19 - 5) \\ &= 16 \times 137 - 14 \times 100 + 37 \times 14 \\ &= 16 \times 137 - 14 \times (100 + 37) \\ &= 16 \times 137 - 14 \times 137 \\ &= 2 \times 137 = 274 \end{aligned}$$

(2)  $\frac{1+2+3+\frac{5}{4}}{\square + \frac{5}{3} - 1} = \frac{34}{12}$

$$\begin{aligned} & \frac{\frac{29}{4}}{\square + \frac{5}{3} - 1} = \frac{34}{12} \\ & \frac{\frac{29}{4}}{\frac{5}{3}} = \frac{34}{12} \times \frac{4}{29} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \frac{3\square}{5} &= \frac{34}{87} \\ 3\square &= \frac{170}{87} \\ \square &= \frac{170}{261} \end{aligned}$$

(2) の別解

$$\begin{aligned} & \frac{\frac{29}{4}}{\square + \frac{5}{3} - 1} = \frac{34}{12} \\ & \frac{\frac{29}{4}}{\frac{3}{5}\square} = \frac{34}{12} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \frac{29}{4} \div \frac{3}{5} &= \frac{17}{6} \\ \frac{145}{12 \times \square} &= \frac{17}{6} \\ 145 \times 6 &= 17 \times 12 \times \square \\ \square &= \frac{145 \times 6}{17 \times 12} = \frac{145}{17} \end{aligned}$$

3 問題文の読み間違いもよくあります。  
間違いの原因が、「分からなくて間違えた」「計算を間違えた」「問題文を読み間違えた」のどれなのかを自分で判断できるようになりましょう。  
問4の答えの間違いの原因を指摘してあげましょう。

4 (1) 和が11になる異なる3つの1以上の整数の組は全部で何通りありますか？

数の組合せは

- (1, 1, 9), (1, 2, 8), (1, 3, 7), (1, 4, 6), (1, 5, 5),  
(2, 2, 7), (2, 3, 6), (2, 4, 5),  
(3, 3, 5), (3, 4, 4)

10通り

(2) 0, 1, 2, 3の4つの数字があり、これらを使って3桁の整数を作ります。  
1以上の整数の各位の数を足した値が3の倍数であれば、もとの正の整数も3の倍数であることが知られています。3桁の整数のうち、3の倍数になるのは何個ありますか。ただし、3桁の整数を作るとき同じ数字は何度でも使ってよいものとします。

3つの数の組合せは

- (0, 0, 3), (0, 1, 2), (1, 1, 1),  
(0, 3, 3), (1, 2, 3), (2, 2, 2),  
(3, 3, 3)

の7通り

それぞれ  $3 \times 2 \times 1 = 6$  (通り) があるので

$7 \times 6 = 42$  (通り)

(2) の別解

3つの数の組合せは

- (0, 0, 3), (0, 1, 2), (1, 1, 1),  
(0, 3, 3), (1, 2, 3), (2, 2, 2),  
(3, 3, 3)

の7通り、3桁の数なので

- 300, 102, 120, 201, 210, 111  
330, 303, 123, 132, 213, 231, 312, 321  
222, 333

の 15通り

5 ここからは自分の間違いを探してみましょう。

問6には間違いやすそうな計算問題を用意しました。

1回目で間違えても気にしなくて良いです。自分で振り返りが出来るような途中式を書く事を意識してください。

6 次の  に入る値を求めなさい。

$$(1) \{5 \times (21 \times 9 - 7 \times 3) + 6 \times (15 \times 15 - 9 \times 9 - 11) \div 19\} \div \{3 \times (4 \times 4 - 3 \times 3)\} = \text{$$

$$(2) 0.35 \times \left(0.69 + 1\frac{1}{5} - 0.9 \div 100 + 1.19 \div 10\right) \div \left(\frac{7}{4} + 0.25\right) \times \left(5\frac{3}{8} - \frac{1}{4} - 0.125\right) = \text{$$

$$(3) \left(\frac{1}{3 \times 5} + \frac{1}{5 \times 7} + \frac{1}{11 \times 13} + \frac{1}{17 \times 19}\right) + \left(\frac{1}{7 \times 11} + \frac{1}{13 \times 17} + \frac{1}{19 \times 23}\right) \div 0.5 = \text{$$

7 最後に！

間違えた後に何が大切か？

それは解き直しです。赤で答えを書くだけでは成長しません。

なぜ間違えたかを理解したうえで、もう一度解き直しましょう。

以下のスペースに問6の解き直しをしましょう。

問6が満点だった人は...これから始まる中学生活に思いを馳せておいてください。